

ルラマ・スマッツ・ンゴニャマ 駐日南アフリカ共和国大使 ご略歴



講師

ルラマ・スマッツ・ ンゴニャマ大使

2013年、ネルソンマンデラ大学大学院修了（政治経済学修士）。1994年より東ケープ州評議員を務める。1998年から2008年まで、アフリカ民族会議（ANC）のHead of Presidency and National Spokespersonを務める。2009年、南アフリカ共和国国会議員当選。2014年、駐スペイン南アフリカ共和国大使に就任。2019年6月から現職。

南アフリカ共和国 の歩み

南アフリカ共和国はアフリカ大陸の最南部に位置し、人口6200万人（2022年時点）の多人種・多民族国家。第二次世界大戦後、アパルトヘイト（人種隔離政策）が施行されました。しかし、「万人の自由と権利」を訴えるネルソン・マンデラ氏などの若き指導者が出現。悲惨な事件も勃発しましたが、希望の社会を目指す青年たちの運動が、国連と当時の南アフリカ政府を動かし、1991年にアパルトヘイトは撤廃されました。また同国は核兵器を保有していながら、自らの手で放棄した国としても知られます。近年ではラグビーの強豪国としても有名ですが、同国ではかつてラグビーは人種分断の象徴でした。しかし南アフリカの人びとは、この人種分断の象徴であったラグビーを、互いを認め合い尊重する希望と融和の象徴へと昇華させ世界1位のラグビー強豪国へと育て上げました。